

まちの話題

新「小郡市民のことば」の表彰式を行いました

市制施行50周年を記念して公募した、新「小郡市民のことば」。12月1日、市長が市民のことばに採用された皆さんへ表彰状を贈呈しました。

市長は「小郡を愛する思いが込もっていて、どの言葉もすてきなものです。市民みんなで、この言葉が表す小郡の未来をめざし、いいまちを作っていきましょう」とあいさつしました。

皆さんからは「今後何十年と続いていく言葉に選ばれて嬉しい」「小郡は歴史も深く素晴らしいまち。表彰状は宝物です」などと語りました。

新「小郡市民のことば」は、市内公共施設へポスター掲示、市ホームページで閲覧できます。



【表彰状を授与した皆さん】

榊澄枝さん(写真一番右)

北原政博さん(写真右から2番目)

嘉田美幸さん(写真左から2番目)

三坂くれあさん(三井高1年)

※入江教頭先生が代理出席(写真一番左)

藤吉知美さん(表彰式は欠席)



安心・安全のために 県排水ポンプ車稼働見学会を開催

11月4日に宝満川河川敷で、県の排水ポンプ車の稼働見学会が開催されました。これは、築地川による浸水被害を軽減するために「安心・安全のまちづくり会議」から市に要望書が提出され、市が県に協力を求めて実現したものです。

排水ポンプ車は、1分間で最大30㎡の水を排水することができ、小郡市を管轄する久留米県土整備事務所に3台、福岡県全体では12台配備されています。

見学会では、排水ポンプ車を稼働し、排水している様子が披露されました。大雨などによって内水氾濫が発生した際は、市が県土整備事務所に出勤要請し、浸水被害の軽減に努めます。

【安心・安全のまちづくり会議】

これまで同和対策事業の際に、地域や学校、PTA、部落解放同盟、行政が一体となって事業の意義・目的を確認しながら進めた「建設委員会方式」の「地域の連携・連帯」という大きな成果を引き継ぎ実施されている会議です。



鴨まちコンテストのグランプリが決定！

10月25日～27日、市内23店舗が考案した鴨料理(合鴨肉使用)を食べ比べするイベント「市制施行50周年鴨まちコンテスト」が開催されました。

市内外から多くの方が店舗を訪れ、3日間で1200食を超える鴨料理が振る舞われました。初めて鴨料理を食べた人もいて、鴨の魅力を知ってもらうきっかけとなりました。

コンテストの結果は以下のとおりです。たくさんの参加、ありがとうございました。

【コンテストの結果】

👑グランプリ 「山と串とワイン」

カモ串炭火焼き(小郡産純蜂蜜と玉ねぎのソースネギ盛り)

2位 「居酒屋ふわり」 鴨寿司

3位 「GRILL KING」 合鴨のコンフィとフルーツサラダ



2位

3位



秋まつりを開催

11月27日、生涯学習センター七夕広場で「秋まつり in 2022」が開催されました。

小郡市市制施行50周年を盛り上げようと、小郡市観光協会、小郡市商工会、みい青年会議所、JAみい青年部、小郡市が協力して企画したもので、ステージでのダンスや演奏の披露、露店の出店、パトカーなどの車両展示などを行いました。

会場には、開始前から市内飲食店のグルメをを求める人が来場。ステージイベントが始まるころには、家族連れなど多くの人で賑わいました。まつりの締めくくりは、会場全体での総踊り。やぐらの上で「おごおり七夕太鼓 白鷺会」が演奏する太鼓の音に合わせて、約100人が小郡音頭などを踊りました。



小郡市と沖縄県本部町の「友好のまち」協定が5周年

11月2日、小郡市・沖縄県本部町・みい青年会議所・本部町商工会青年部の4者が「友好のまち」協定締結5周年を記念して、懇談会を開催しました。

みい青年会議所と本部町商工会青年部の交流は約40年前から続いており、「世代が変わっても交流が毎年続いている。人材交流を含め、幅広い分野で深いつながりを築いていきたい」と話しました。

新型コロナの影響で休止していた“小郡・三井少年の船”は、次の開催で節目の40回目を迎えます。「来年は3年ぶりに開催したい」と、両市町熱い思いを語り合いました。



味坂小の調理員考案の献立が学校給食料理コンクールで最優秀作品

味坂小学校の調理員考案の献立が、「令和4年度小郡市・三井郡学校給食料理コンクール」で、最優秀作品に選ばれ、学校給食として登場しました。

献立は「枝豆ごはん」「さばのカラフルソース」「ちゅうりサラダ」「彩りサンラータン」です。「残飯ゼロに取り組み児童のために、給食で食べたことのないものを作りたい」と考案されました。

コンクールでは、小郡でとれた“七夕枝豆”などを使い、彩りよく、見ても食べても楽しいところが高い評価につながったとのこと。児童たちは「すごくおいしい！」と笑顔でほおばっていました。



小郡市の交通事故をなくす取組が特別賞を受賞

11月15日、福岡県交通安全県民大会が開催され、「交通事故をなくす小郡市市民運動本部(本部長：小郡市長)」がシルバーセーフティーコンクールの交通安全教育活動特別賞を受賞しました。

このコンクールは、高齢者の交通安全対策に関して功績があった団体を表彰するものです。令和3年12月、交通安全教室やサポカーの試乗などを小郡警察署や株式会社小郡自動車学校、関係企業と行った「高齢者交通安全大会」が評価されました。

今年の11月に開催した大会では、生活道路に踏切が多いことに着目し、踏切事故の回避体験などを実施しています。

